

編集後記

当院が診療年報を初めて発刊したのは1982年(昭和57年)でした。それ以降毎年当院の歩みを報告してきましたが、残念ながら2006年度の年報を最後に発刊が途絶えていました。この度、本年4月に広報委員会が拡充されたのを契機に診療年報を復活させることができました。

京都医療センターは急性期中核病院と地域医療支援病院としての役割を担っています。急性期中核病院として救命救急センターを設置し365日24時間の三次救急に対応できる医療体制を整え、地域医療支援病院として最善の高度医療を提供し地域医療に貢献できるよう病院全体で努力してまいりました。また、教育研修病院として医師、看護師、助産婦などの人材の育成に努め、高度専門医療施設(準ナショナルセンター)として臨床研究センターを擁して医療の向上に貢献しています。このような当院の日々の活動を年次でまとめることは、単に外部への情報発信のためだけではなく、院内にあっても病院一丸となつての努力の歩みに関する認識を個人が共有することで当院のさらなる発展につながると考えています。

広報委員会として、この診療年報を毎年発刊することを通じて、京都医療センターの一層の発展とひいては地域への医療の貢献に役立てれば甚だ幸いです。

2012年 広報委員会

瀬田 公一

塚原 徹也